

- 問1 中部地方の北陸各県における製造業の特色について述べた文として、正しいものはどれですか。統計上の製造品出荷額の内訳を説明した内容に基づき、適切なものを選びなさい。 (2016年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 富山県では石油・石炭製品の割合が最も高く、福井県では電子部品の製造が中心となっている。 | 2. 新潟県では食料品や電子部品の割合が高く、富山県では化学工業や輸送用機械の割合が高い。 | 3. 福井県では印刷業が盛んに行われており、新潟県では輸送用機械の出荷額が最も多い。 | 4. 新潟県では化学工業が、富山県では繊維工業が、それぞれの県の製造品出荷額の半分以上を占めている。 |
|--|---|--|--|
- 問2 中部地方で1960年代に自動車工業が急速に発展した背景について述べた文として、最も適切なものを選んでください。 (2019年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 製鉄所や石油化学コンビナートが近隣に立地し、自動車の製造に必要な鉄鋼やプラスチックなどの材料を確保しやすかった。 | 2. 内陸の広大な土地にシリコンロードと呼ばれる高速道路網が整備され、IC（集積回路）の安定供給が可能となった。 | 3. 1990年の入管法改正にともない、労働力として多くの日系外国人が南米から移住してきたことで人手不足が解消された。 | 4. 高度な技術を持つ伝統工芸の職人が、すべて手作業で部品を組み立てる多品種少量生産の体制を確立した。 |
|---|--|---|---|
- 問3 長野県白馬村における2015年から2019年にかけての外国人観光客の延べ宿泊者数の動向について、統計上の変化を説明したものとして最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2022年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. ヨーロッパからの延べ宿泊者数は、2015年から2019年にかけての5年間で、前年を下回ることなく毎年連続して増加し続けている。 | 2. アジア地域からの延べ宿泊者数は、増加の割合においてオセアニア地域を大きく上回り、全地域の中で最も高い成長率を記録している。 | 3. 調査が開始された2015年時点において、アジア、北アメリカ、ヨーロッパ、オセアニアの全地域を合計した延べ宿泊者数は、すでに15万人を超えていた。 | 4. 2015年と比較して2019年は調査された全地域で宿泊者数が増加しており、特にオセアニアからの宿泊者は5万件台から17万件台へと3倍以上の大幅な伸びを見せている。 |
|--|--|---|--|
- 問4 静岡県などの中部地方の太平洋沿岸部に見られる気候について、冬の気温が平均5度前後と高く、夏に降水量が多いという特色を持つ気候を何といいますか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|------------|-----------|------------|
| 1. 太平洋側の気候 | 2. 日本海側の気候 | 3. 瀬戸内の気候 | 4. 中央高地の気候 |
|------------|------------|-----------|------------|
- 問5 東海・北陸地方の各県の統計において、人口が300万人を超え、工業出荷額の中で自動車などの輸送用機械の割合が突出して高い県と、人口が約100万人で、非鉄金属工業の出荷額が他の工業分野に比べて目立っている県の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2026年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. 岐阜県と富山県 | 2. 静岡県と富山県 | 3. 長野県と岐阜県 | 4. 静岡県と長野県 |
|------------|------------|------------|------------|
- 問6 日本アルプスを構成する3つの山脈について、北から順に、通称「北アルプス」「中央アルプス」「南アルプス」と呼ばれます。このうち、最も北側に位置する「北アルプス」の正式名称を選びなさい。 (2024年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 飛騨山脈 | 2. 木曽山脈 | 3. 赤石山脈 | 4. 越後山脈 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問7 愛知県などで盛んに行われている、菊の「電照栽培」と呼ばれる栽培方法の仕組みとその目的について述べた説明として、最も適切なものを選んでください。 (2026年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 夜間に照明を当てることで人工的に日照時間を短く調節し、開花時期を早めることで収穫回数を増やす。 | 2. 強い光を当てることで光合成を極限まで促進させ、通常の栽培よりも大きな花を短期間で育てる。 | 3. 夜間に照明を当てることで人工的に日照時間を長く調節し、開花時期を遅らせることで出荷時期を調整する。 | 4. 温室内の温度を照明の熱で上げることで、冬場の冷害を防ぎながら露地栽培よりも早く成長させる。 |
|--|---|--|--|
- 問8 日本の工業に関する統計において、2020年の製造品出荷額等が約44兆円に達し、全国1位となっている県の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2024年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|---------|
| 1. 愛知県 | 2. 大阪府 | 3. 宮城県 | 4. 神奈川県 |
|--------|--------|--------|---------|
- 問9 中部地方で見られる農業の特色について、その背景や理由を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2017年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 長野県では、冬の積雪が少ないことを活かして、工芸作物を中心とした農業産出額が最大となっている。 | 2. 新潟県では、内陸の乾燥した気候を活かして、畜産と野菜の産出額が米を大きく上回っている。 | 3. 愛知県では、都市部から遠い立地を活かして、大規模な米の産地形成が他の作物よりも優先されている。 | 4. 山梨県では、盆地周辺の傾斜地や扇状地の水はけが良いことを活かして、果実の産地形成が進んでいる。 |
|--|--|--|--|
- 問10 長野県などの高冷地では、レタスの収穫時期をあえて6月から10月の夏季に集中させています。平地の収穫量が減少するこの時期に出荷時期をずらす最大の目的として、最も適切な説明はどれか、選びなさい。 (2016年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 冬の積雪による農作業の停止を防ぎ、年間通じて安定した収入を得るため | 2. 大都市に近い利点を活かし、輸送コストを抑えて新鮮なうちに届けるため | 3. 化学肥料の使用を抑えた環境に優しい農法をアピールするため | 4. 他の産地との競争を避け、需要が高まる時期に高い価格で販売するため |
|--------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------|-------------------------------------|
- 問11 名古屋市の製造品出荷額の構成を示した統計において、約36%を占める電気機械に次いで、出荷額全体の14%を占めている工業分野があります。人口が集中する大都市としての消費需要を背景に、名古屋市内で発達しているこの工業分野は何ですか。 (2018年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|--------------|------------|
| 1. 食料品工業 | 2. 非鉄金属工業 | 3. 窯業・土石製品工業 | 4. パルプ・紙工業 |
|----------|-----------|--------------|------------|
- 問12 かつて藩主が文化振興に力を入れた歴史的背景を持ち、現在も加賀友禅や金沢箔、そして能登半島の「輪島塗」など、多くの伝統的工芸品が生産されている都道府県を選びなさい。 (2019年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 福井県 | 2. 岐阜県 | 3. 石川県 | 4. 富山県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問13 中部地方の中央部には、標高3000メートル前後の険しい山々が連なり、「日本の屋根」とも称される広大な山岳地帯があります。この地域を構成する飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈の3つの山脈を合わせた総称として正しいものはどれですか。 (2024年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-----------|---------|---------|
| 1. 越後山脈 | 2. 日本アルプス | 3. 中国山地 | 4. 奥羽山脈 |
|---------|-----------|---------|---------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 新潟県では食料品や電子部品の割合が高く、富山県では化学工業や輸送用機械の割合が高い。	北陸地方は県ごとに発達している工業分野が異なります。新潟県では米どころとしての背景から食料品工業が発達しているほか、電子部品の製造も盛んです。富山県では、豊富な水資源と電力を背景に発展した薬品などの化学工業や、輸送用機械の割合が高いという特色があります。選択肢にある石油・石炭製品や印刷業は、この地域の主な特色とは言えません。
問2	答え 1 製鉄所や石油化学コンビナートが近隣に立地し、自動車の製造に必要な鉄鋼やプラスチックなどの材料を確保しやすかった。	1960年代の高度経済成長期、中部地方（特に中京工業地帯）の沿岸部には製鉄所や石油化学コンビナートが次々と建設されました。これにより、自動車の主材料となる鉄鋼や樹脂、タイヤの原料などを近隣から効率よく調達できる体制が整い、工業の発展を支えました。なお、日系外国人の労働者が増加したのは1990年の入管法改正以降であり、1960年代の状況とは異なります。
問3	答え 4 2015年と比較して2019年は調査された全地域で宿泊者数が増加しており、特にオセアニアからの宿泊者は5万件台から17万件台へと3倍以上の大幅な伸びを見せている。	白馬村の観光統計によると、2015年から2019年にかけて全ての地域で外国人観光客の延べ宿泊者数が増加しています。特にオセアニア地域は約5万件から約17万件へと3.4倍近い急成長を遂げているのが最大の特徴です。ヨーロッパ地域については期間全体で見れば増加していますが、年によっては微減するなどの変動があるため「毎年連続して増加」という説明は不適切です。また、2015年の合計宿泊者数は15万人には達しておらず、計算ミスを誘う選択肢にも注意が必要です。
問4	答え 1 太平洋側の気候	中部地方の太平洋側は、冬に北西からの季節風が山脈を越えてくる際、水分を失って乾燥した晴天の日が多くなるため、冬の気温が高い（氷点下になりにくい）のが特徴です。また、夏は太平洋からの湿った季節風や台風の影響で降水量が多くなります。これに対し、日本海側は冬に雪が多く、中央高地は標高の影響で一年を通して気温が低めで雨が少なくなります。
問5	答え 2 静岡県と富山県	静岡県は東海工業地域の一角をなし、輸送用機械（自動車・オートバイなど）の製造が極めて盛んで、人口も300万人を超える大きな規模を持っています。一方、富山県は人口約100万人規模であり、北陸地方の急峻な河川を利用した水力発電による豊富な電力を背景に、アルミニウムなどの非鉄金属工業が発展したという特色があります。
問6	答え 1 飛騨山脈	日本アルプスは北から順に、飛騨山脈（北アルプス）、木曽山脈（中央アルプス）、赤石山脈（南アルプス）という名称がついています。これらの山脈は、日本列島を東西に分ける大きな溝（フォッサマグナ）の西側に位置しており、日本の国土を象徴する高峻な地形で構成されています。
問7	答え 3 夜間に照明を当てることで人工的に日照時間を長く調節し、開花時期を遅らせることで出荷時期を調整する。	菊は、日照時間が短くなると花芽をつくる「短日植物」という性質を持っています。電照栽培はこの性質を利用したもので、夜間に温室内で電球を点灯させて日照時間を人工的に長く保つことで、菊に「まだ開花の時期ではない」と判断させ、開花時期を意図的に遅らせます。これにより、正月や彼岸といった菊の需要が高まる時期に合わせて出荷することが可能になります。
問8	答え 1 愛知県	中京工業地帯の中核を担う愛知県は、自動車工業を中心とした産業が極めて盛んです。製造品出荷額等は長年にわたって全国1位を維持しており、2位以下の都道府県を大きく引き離しているのが特徴です。一方、人口も多い神奈川県は京浜工業地帯に含まれますが、製造品出荷額等では愛知県に及びません。
問9	答え 4 山梨県では、盆地周辺の傾斜地や扇状地の水はけが良いことを活かして、果実の産地形成が進んでいる。	農業の特色は、その土地の自然環境と深く結びついています。山梨県の甲府盆地周辺は、果樹栽培に適した「水はけの良い地形」を活かして、果実の産出額が非常に高くなっています。長野県は冷涼な気候を活かした野菜、新潟県は平野と豊富な水資源を活かした米が主力であり、それぞれ異なる背景に基づいて産地形成が行われています。
問10	答え 4 他の産地との競争を避け、需要が高まる時期に高い価格で販売するため	夏の平地は気温が高すぎてレタスなどの生育に適しません。その時期に涼しい高原で栽培して出荷することで、市場に出回る量が少ない「品薄」の状態を狙い、有利な価格で取引することを目的としています。これを「抑制栽培」と呼びます。
問11	答え 1 食料品工業	名古屋市のような大都市の工業構成では、多くの人口を抱える「大消費地」に近い利点を活かした、消費地立地型の工業が発達する傾向があります。出荷額の14%を占める食料品工業は、パンや菓子、飲料など、都市住民の生活に密着した製品を迅速に供給するために、都市近郊や都市内部に工場が置かれる典型的な事例です。なお、非鉄金属は約8%であり、食料品工業に次ぐ主要な構成要素となっています。
問12	答え 3 石川県	江戸時代の加賀藩による工芸奨励策の影響で、石川県では伝統産業が高度に発達しました。特に能登半島の輪島塗や金沢市の友禅染・金箔などは全国的にも有名です。富山県は薬売りやアルミ産業、福井県は眼鏡枠や繊維産業などが知られています。
問13	答え 2 日本アルプス	中部地方に位置する飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈は、いずれも非常に標高が高く険しい山々であることから、ヨーロッパのアルプス山脈にちなんで「日本アルプス」と呼ばれています。これらは北から飛騨（北アルプス）、木曽（中央アルプス）、赤石（南アルプス）の順に並んでおり、日本の国土を東西に分けるような形でそびえ立っています。